

「ラザロよ、出てきなさい！」

～創造主なるイエス・キリスト～

「わたしはよみがえりであり、命である。わたしを信じる者は、たとえ死んでも生きる。また、生きていて、わたしを信じる者は、いつまでも死なない。あなたはこれを信じるか。」
ヨハネによる福音書11章25・26節

このイエス様の質問は驚くべき内容です。尾山令仁先生の訳された「現代訳聖書」では、次のように訳されています。

「わたしは死人を復活させ、また、死んだ人にもう一度命を与えて、生き返らせることのできる者です。わたしを信じる人はたとえ死んでも、再び生きることができます。また、わたしを信じる人々は永遠の救いに入れますから、決して滅びることはありません。このことを信じますか？」

この質問にマルタは、即座に「はい、信じます！」と答えました。その内容の一部でも理解できていなかったはずなのに、イエス様というお方を信頼するがゆえに、“すべてこのお方のおっしゃることを信じよう！”と心に決めていたのでしょうか。マルタの告白もすばらしいものです。

イエス様は、ここに来るまで、様々な奇跡を起こされました。水をぶどう酒に(2章)。五つのパンと二匹の魚で5000人以上の人々のお腹を満たした(6章)。また、病人の癒しでは、ベテスダの池で38年間病気のために動くことができなかった男性を癒された(5章)。生れつき盲人だった男性の目を見えるようにされた(9章)。そして、今回は、死んで4日も経っていて、墓に葬られていたラザロを復活させました。物質を変え、量を増やし、そして、人間の中にある病を取り除くことというこの世における出来事に対してだけでなく、死の向こう側、霊の世界、物質を超え、肉体を超えた世界、永遠の世界に対してもすべての権威を持っておられることを証明なさいました。そして、このお方を信じる人も、もれなく、その永遠の希望の中に入れられているというメッセージが語られました。

私たちと同じようにイエス様に直接お会いしていない、伝道者パウロは、ローマ人への手紙8章38・39節でその信仰を告白しています。

「私はこう確信している。死も、命も、御使いも、権威ある者も、今あるものも、後に来るものも、力ある者も、高いものも、深いものも、そのほかどんなものでも、そのような被造物が、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から、私たちを引き離すことはできない。」〔現代訳聖書〕

イエス様はこのラザロの復活を通して、ご自身は人間と同じように神によって造られた被造物ではなく、創造主であり、ご自身、神であることを証明されたのです。そのお方が語られたので、ラザロの命がもう一度、生きたものとなったのです。